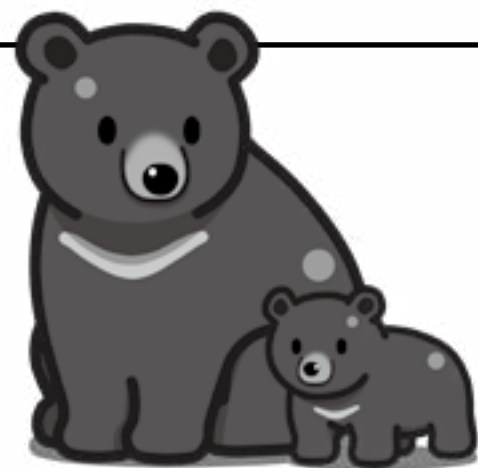




ツキノワグマ

ってこんな生き物です

大きさ 体長 120～145cm

体高 60cm前後

おもさ 60～100kg前後

運動能力

- ・走るスピードは速く、短時間なら時速50km程度で走る。泳ぎもうまい。
- ・爪をたてることが出来れば垂直の壁も登ることができる。
- ・ジャンプ力は弱い。
- ・柔軟性があり、狭いところでもくぐり抜ける。直径44cmのドラム缶の中でもUターンできる。

習性

- ・あまり行動圏を変えないが、広範囲に移動することもある。
- ・日の出・日没前後に主に活動する。
- ・身を隠すものがない開けた場所や人工照明のある明るい場所はあまり行かない。
- ・学習能力は高い。

食性

- ・ドングリなどの堅い木の実、キイチゴ・ヤマブワなどの柔らかい木の実、昆虫類、蜂蜜、花、山菜、ネマガリタケなど。
- ・季節ごとに食べるものを変える。6月はネマガリタケ、10月はドングリ類など、時期ごとに特定のを大量に食べる。
- ・蜂蜜や果物など甘い物が大好き。

普段はおとなしい性格だけど...

こんなときには人間を襲うことも

- ・子グマを守ろうとするとき
- ・エサを守ろうとするとき
- ・急に人間に会ってパニックになったとき



万が一、クマが目の前にきたら

クマから逃げられない距離の場合



うつ伏せになって顔と腹部を守り、両手で首の後ろを保護します。リュックサックなどを背負っていれば、プロテクターになり一番大事な頭部や首部が守れます。転がされてもその勢いで元の姿勢に戻ることが重要です。

クマまで10m程度の場合



近くの物陰に隠れるか、両腕をゆっくり広げて自分の姿を大きく見せるようにしましょう。持っている傘や、ビニールシートを広げたらクマの方が逃げたという話があります。

絶対にしてはいけないこと

- ①急に大声を出す ②物を投げつける ③背中を見せて走って逃げる



クマに出くわした時、驚いて大きな声を出したり、物を投げつけたりすると、驚いたクマが興奮状態に陥り、大変危険です。

またクマは視力があまりよくなく、じっとしているとこちらの存在に気づかないこともあります。背中を見せて走って逃げると、反射的に追いかけてくる場合があります。時速50kmで走ることができるクマからは走っても逃げ切れません。



の出没に注意!!

春が過ぎ、これからアウトドアの季節がやってきます。行楽や山菜採り、きのこ採りなどで山に入る場合はクマと遭遇する危険性があります。また、昨今、県内では市街地でもクマの目撃が相次いでいます。もしも、散歩などの際にクマと遭遇してしまったら、どのような行動をとるべきでしょうか。

身近に生息するツキノワグマの生態を知り、クマから正しく身を守る方法を確認しましょう。

初夏はクマの気が立っている

ツキノワグマの生息頭数は増加傾向にあり、本町でも農作物への被害が発生しています。

初夏はクマの繁殖期。非常にオスの気がたつていて緊張状態になります。

外に出る場合は、出没情報のある場所に近づかない、クマ鈴などで音を出して存在を知らせる、出没数の多い朝夕を避けるなどの対策をしましょう。

もしも出会ったら、慌てずゆっくりその場を離れる

かわいい子グマに注意 近くには必ず親グマが

万が一、クマと遭遇してしまった場合は、慌てず静かに、ゆっくりクマから離れることが大切です。

遠くにクマを見つけた場合は、静かにゆっくりとその場を離れてください。

本来、クマはおとなしく臆病な性格。驚かせたり刺激しなければ、人間を襲うことはありません。

子グマは好奇心が強く、人間が怖い生物だと思っていないため、近づいても逃げないことがあります。

一見かわいい子グマですが、近くには必ず親グマがいるというのを忘れないでください。子どもを守るため攻撃的になっている親グマは、人間を襲うことがあります。

専門家に聞く

interview

25歳で狩猟免許を取得し、47年間、狩猟に携わってきましたが、その中でも、昨年はクマの出没件数が非常に多く、支部では16頭ものクマを駆除しました。クマのエサとなるブナの実やドングリが凶作だったこともあり、エサを探しに里に降りて来たことが原因と考えられますが、昨年同様、今年も多く、クマが出没する可能性があります。

柿、栗、クルミはクマの大好物です。不要な柿の木などは集落で責任を持って伐採してください。また、空き家はクマにとって格好の隠れ家です。空き家にクマを寄せ付けないよう、集落で管理をお願いします。

庄内町では、主に清川地区や立谷沢地区でクマが確認されますが、余目地域に出没することもあります。余目地域に出没する個体は、必ず最上川などの河原のやぶの中を移動しています。川沿いにお住まいの方や、川に近づく際は注意しましょう。

近年、女性の狩猟免許取得者が増加しています。今後も安心して生活ができるよう、若い世代や女性が免許を取得することが望ましいです。また、農家の方々から積極的に取得していただき、自分の農地を自分で守れるようになっていただけると助かります。



山形県猟友会
庄内町支部長
菅原 しょういち
正一さん

狩猟免許を取得してみませんか？

新規狩猟免許取得支援事業補助金

町では、新規に狩猟免許を取得することを促進するため、補助金を交付しています。

●対象：令和6年度に狩猟免許または銃器の所持の許可を取得し、猟友会の会員および庄内町鳥獣被害対策実施隊となる、町内に住所を有する者

●補助額：上限88,300円（経費の1/2以内）

●補助対象経費：

- ・狩猟免許取得に係る経費
- ・銃砲所持の許可および保管に係る経費
- ・猟友会の入会に係る経費

●申請方法：交付申請書に次の書類を添えて提出してください。

交付申請書は、環境防災課環境衛生係にあります。

- ・狩猟免許の写し
- ・補助対象経費に係る領収書の写し
- ・猟友会への入会を証する書類の写し
- ・銃砲所持許可証の写し（銃砲所持許可を受けた場合に限り）

■問合せ：環境防災課環境衛生係☎0234-43-0254



△町HP

猟銃または空気銃を新規に取得する者
（初心者講習会）

●日時：6/27(木) 9:00～17:00

●場所：酒田警察署

狩猟免許取得希望者講習会
置賜会場

●日時：7/6(土) 9:00～16:30

●場所：赤湯公民館

村山会場①・②

●日時：①7/27(土) 9:00～16:30

②8/4(日) 9:00～16:30

●場所：山形ビッグウイング

📞 クマを見かけたらすぐ通報！

■通報先：環境防災課環境衛生係☎0234-43-0254

庄内警察署☎110、☎0234-45-0110

クマと共存するために

最善のクマ対策は、出会わないことです

クマの出没スポットへ近づかない

Point

- ・クマがいた痕跡は、糞や足跡、クマ棚と呼ばれる折れた枝を積み重ねたものから確認できます。クマの痕跡を見つけたら、引き返してその場から離れましょう。



△クマの爪痕

- ・新聞やテレビなどで、クマの頻繁な出没やクマの被害が報じられた場所には、できるだけ立ち寄らないようにしましょう。クマの出没情報は、町の防災無線や、町公式LINEでも配信しています。



△町公式LINE

- ・県では、クマの出没地点を掲載したクマ出沒マップを公開しています。町内では、立川地域の山あいを中心にクマが目撃されていますが、過去には平野部でも確認されていますので、注意が必要です。



△県HP

クマをおびき寄せない

Point

- ・家のまわりに農産物や生ゴミなどを捨てたり、置いたりしないでください。食べ物をきっかけに家屋へ侵入する場合がありますので、外に置く場合はクマの手が届かない所に保管しましょう。

- ・柿はクマの大好物で、クマの出没に大きく影響します。不要な柿の木は伐採する、落ちている実を放置しないなど、クマが寄ってこない場所にしましょう。



- ・BBQや登山、釣りなどで出たゴミは必ず持ち帰ってください。ゴミの管理を徹底しましょう。

- ・家周辺の茂みなど、クマの隠れ場所を無くしましょう。茂みはクマの侵入経路となります。見通しを良くし、クマを寄せ付けないようにしましょう。

クマ対策は十分に！

県内では市街地でもクマの目撃が相次いでおり、本町でも人身被害が発生するおそれがあります。今年も十分な対策が必要です。

クマは朝方や夕方など、薄暗い時間帯によく出沒します。子どもたちの登校、下校時間と重なるため、1人で歩かない、茂みの多い道を歩かないなどの対策を行いましょう。

個人や集落でできることを整理し、クマが寄り付きづらい集落づくりに取り組みましょう。



環境防災課長
なかの まさき
中野 正樹